

### ブラジル先住民の椅子

とき・4/6(土)～5/19(日)

ところ・2階展示室

内容・南米大陸、ブラジル北部のアマゾン河やシンガー川流域で暮らす先住民の人びと。彼らの作る一木造り(いちぼくづくり)の椅子は、動物のかたちや機能的なフォルムに独特な幾何学文様が施されており、ユニークな造形作品としてみる事ができます。先住民にとって、椅子は、日常生活の中で使用したり、シャーマンによる儀式や結婚式等の特別な機会に用いたりするなど、彼らの生活や伝統、独自の神話と結びついており、コミュニティ内の文化的・社会的なシンボルでもありました。今日、彼らはコミュニティの外との繋がりから刺激を受けて、自然を眺める眼に自らのアイデンティティを求め、用途や伝統に縛られない、より多様で自由な表現を生み出しています。

本展ではブラジルの出版社ベイのコレクションから、ブラジル先住民の椅子約90点を紹介し、独自の感性から生まれた造形に、人間の豊かな想像力の発露を読み取ります。

観覧料・1100円(880円)、大高生880円(710円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。



カナリヤ作《ホウカンチョウ》  
(クイクロ) 43×43×91 cm

#### 《関連イベント》

○スペシャル・トーク「メイナクの兄弟との出会い」

とき・4/14(日)15:00～16:00(開場14:00)

ところ・2階講堂

講師・樋田豊次郎(東京都庭園美術館館長)

定員・80名(当日先着順)/費用・無料

内容・本展監修者が、調査旅行のなかで見つけた先住民の椅子の魅力をご紹介します。

○スペシャル・ギャラリー・トーク「三沢厚彦、埼玉でブラジルの動物たちと出会う」

とき・5/12(日)15:00～16:00

ところ・2階展示室

講師・三沢厚彦(彫刻家・武蔵野美術大学特任教授)

定員・30名/費用・企画展観覧料が必要です。

内容・木彫でさまざまな動物のかたちを探求する彫刻家が、ブラジル先住民の想像力から生み出された動物形態の椅子について縦横無尽に語ります。

○担当学芸員によるギャラリー・トーク

とき・4/20(土)、5/11(土)各日とも15:00から30分程度

ところ・2階展示室

費用・企画展観覧料が必要です。

#### アート体感ワークショップ

### MOMASのとびら

とき・土曜日13:30～15:00

対象・幼児から大人まで

費用・『工房』は500円。その他無料。

申込方法・館内で配布する申込用紙(ホームページからもダウンロード可)によりFAXでお申し込みいただくか、ホームページから直接お申し込みください。

○5月分のお申込みを4/1(月)から受け付けます。

5/4(土)フリープログラム[どなたでも]※申込不要

5/11(土)みる+つくる(企画展物語)[小・中学生]

5/18(土)彫刻あらいぐま[小・中学生+保護者]

5/25(土)みる+つくる(MOMASコレクション)[小・中学生]

○6月分のお申込みを5/1(水)から受け付けます。

6/8(土)工房[小学生～大人]

6/15(土)み～っけ! [未就学児+保護者]

6/22(土)親子クルーズ(MOMASコレクション)[小・中学生+保護者]

## MOMAS コレクション(収蔵品展)

2018年度第4期

とき・1/12(土)～4/14(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

※会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇セレクション:ユトリロとかパスキンとか

モーリス・ユトリロなど西洋近代絵画に、日本の近代絵画を交えてコレクションを紹介します。新収蔵品のポール・シニャック《アニエールの河岸》もお披露目します。

◇瑛九と光春—イメージの版/層

瑛九(1911-1960)と山田光春(1912-1981)における「版」や「層」に注目し、「イメージの搬送」の過程を探ります。近年収集した瑛九の油彩、フォト・デッサン、コラージュ、山田光春のガラス絵、素描を中心に構成します。

◇特別展示:瑛九の部屋

瑛九《田園》を暗室に展示します。見る人が光をコントロールできます。「絵を感じる」ための特別展示です。

2019年度第1期

とき・4/20(土)～7/21(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

※4月20日、21日を除く会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

※会期中一部作品の展示替えがあります(前期:4/20～6/2、後期:6/4～7/21)。

◇セレクション:ウジェーヌ・ドラクロワから新印象主義へ  
ポール・シニャックの著作『ウジェーヌ・ドラクロワから新印象主義へ』を手がかりに、西洋と日本の近代絵画の流れをたどります。

◇山水から風景へ

近現代の日本画を中心に日本美術における風景表現の変遷をたどります。

◇自然の造形—増田三男作品を中心に

さいたま市出身で彫金の重要無形文化財保持者(人間国宝)増田三男(1909～2009)の作品を中心に、動植物をモチーフにした工芸作品を紹介します。

#### 《関連イベント》

○サンデー・トーク

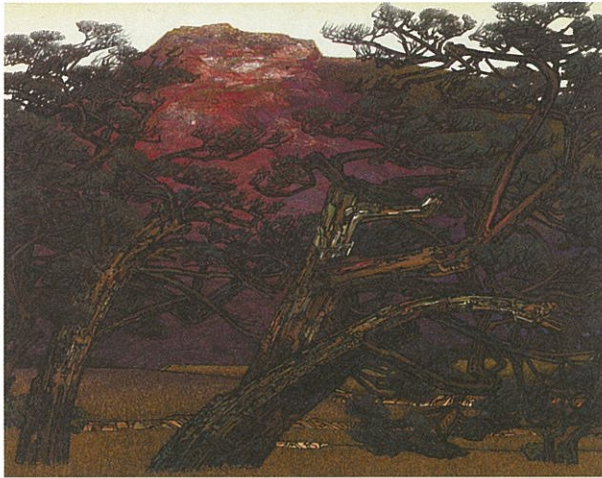
内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。

費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・5/26(日)15:00～15:30

担当学芸員・菊地真央

作品・大野百樹《秋韻》1968年



大野百樹《秋韻》1968年

## 一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆4/2(火)～4/7(日)

ともにあるく(創作人形)……………一般展示室4

◆4/9(火)～4/14(日)

群炎埼玉支部展(水彩、油彩、彫刻、工芸、写真、創作人形)……………一般展示室2

第10回関口健司展(水彩)……………一般展示室3

第29回溪水会展(日本画、水彩、油彩、書、水墨画、墨彩画、ちぎり絵)……………一般展示室4

……………一般展示室4

◆4/16(火)～4/21(日)

第35回さいたま蘭秀100選展(書)……………一般展示室1

第13回フォト・トルトゥーガ写真展(写真)……………一般展示室2

阿佐見昭彦写真展「密やかな記憶Ⅳ」(写真)……………一般展示室3

第13回彩ボタニカルアート展(水彩)……………一般展示室4

……………一般展示室4

◆4/23(火)～4/28(日)

浦和写真クラブ作品展「自然と風土」(写真)……………一般展示室2

第7回栗田ひさし・梨伽の絵画二人展(日本画、水彩、水墨画、墨彩画ほか)……………一般展示室3

……………一般展示室3

第11回彩画展(日本画、水彩、油彩)……………一般展示室4

◆4/25(木)～4/28(日)

第43回埼玉女流工芸展(工芸)……………一般展示室1

◆4/30(火)～5/5(日)

第23回埼玉二科展(油彩、彫刻、デザイン)……………一般展示室1～4

◆5/28(火)～6/19(日)

第69回埼玉県美術展覧会(県展)(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)……………一般展示室1～4ほか

## スライド・トークの現場から

「これなら俺のほうが上手く描ける気がする。」  
あるお客様がそう発言されたらとたん、他のお客様方は思わず吹き出しました。

1月某日、県内のある公民館で、私は出張スライド・トーク(※)を行っていました。その日の講義テーマ「印象派」に関連する画家・斎藤豊作の《初冬の朝》(1914年)を見た、あるお客様の発言が冒頭の一文です。

斎藤豊作は越谷市出身の画家で、新印象派などをパリで学び、点描を日本に伝えました。彼が描く絵のあふれだすような豊かな色彩は、印象派とのつながりも感じさせます。

日本人の多くは、印象派を好むとよく言います。印象派と似ているから、豊作のことを嫌いという人もあまりいないだろうーそんな安直な考えで、私は講義の参加者にこの作品の好き/嫌いを問いました。すると、作品への批判が出るわ出るわ。お客様方の観察眼にとっても驚きました。例えば、影の描き方。川に映る影の描き方がよく見ると変なのです。また、構図が単調だと指摘した方もいました。極めつけは、色彩がげげげげげすぎる!とのこと。あまりの批判の激しさに、私も含め参加者一同笑ってしまいました。

その後私が解説をし、フォローを入れたものの、「もしかしたら俺のほうが上手い画家」という印象を強烈に残したまま、その日の講義は終了しました。

その次の週、同じお客様方が今度は美術館にご来館くださいました。その日、私は豊作の話はしなかったのですが、知らぬ間に彼は名誉挽回を遂げていたようです。展示を観覧したあとの講義で、あれだけ批判していた方々が「画面で見るとは違って本物は凄かった」と、口々に豊作の作品を褒めてくださいました。

このご時世、本やネットで、作品の画像はいくらでも手に入れることができます。けれども、やはり本物には本物にしかない力があるようです。その「本物の力」を伝えることができるような案内をすることが、今後の私の目標だな、と感じた出来事でした。(H.K.)

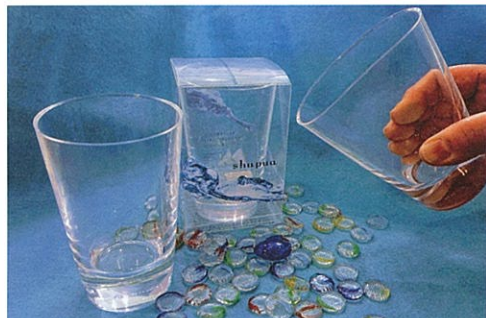


斎藤豊作《初冬の朝》1914年

(※)当館に来館される18歳以上の団体のお客様を対象とした予約制の展示案内サービスのこと。適宜ご予約を受け付けております。お気軽にお問い合わせください。(TEL:048-824-0110)

## ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、シリコン製のコップ「シュプア」をご紹介します。見た目はガラスのようですが、柔らかくて、高品質・高機能・高透明で安心安全。電子レンジでも使用できます。シュプアで美味しく楽しい食事がはじまります。(I.M.)



shupua(シュプア)日本製  
φ71×H110mm  
容量220ml  
¥1,800(税別)

## 編集後記

↑のシュプアのコップ、ガラス製だと思って触ったときの驚き。コーラを飲んだつもりが麦茶だったときのような感覚です。(S.Y.)

MOMASコレクション第4期「瑛九の部屋」の関連動画(当館YouTubeにて配信)にご協力くださった皆様、ありがとうございます。「美術館のプロモーショングッズを作りたい」という思いが、思わぬ形で叶ったように感じています。(G.U.)

交通・JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。

※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では

駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。

団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、

台数に限りがありますので予めご了承ください。